

新刊紹介

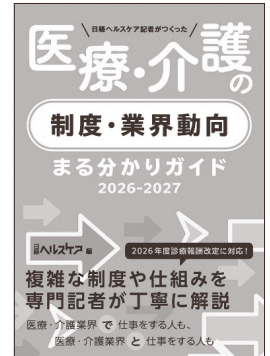


日経ヘルスケア記者がつくった

医療・介護の制度・業界動向まる分かりガイド 2026-2027

編集 日経ヘルスケア
発行 日経BP
定価 3300円 (3000円+税10%)

医療・介護の制度や業界動向を豊富な図表・イラストを使って分かりやすく解説する一冊。2026-2027年版では2026年度診療報酬改定の内容を反映し、その他の制度改正なども踏まえて最新の情報にアップデート。これから医療・介護業界で働く新入職員の教育・研修の他、既に働いている人が専門外の知識を身につける際にも最適。

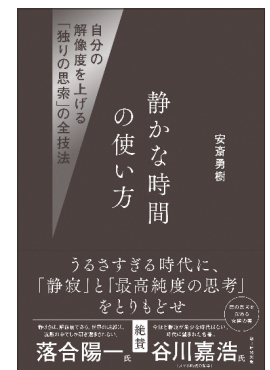


自分の解像度を上げる「独りの思索」の全技法

静かな時間の使い方

著 安斎勇樹
発行 朝日新聞出版
定価 1760円 (本体1600円+税10%)

つながりや情報に翻弄されがちな現代において最も重要なのは、独りきりの「静かな時間」を確保し、いかに内面の深くまで潜って思考できるかということ。特に「感情」「技術」「興味」のリフレクションは、己の思考や人生の軸を定めるための強力な手段になる。静かな時間に思索を深めてきた著者が、己の思考を深める技法を提案する。



日本に看護師継続教育義務化制度の導入を

諸外国、とくに米国における看護師免許更新制に学ぶ

著 網野寛子
発行 看護研究出版
定価 2200円 (本体2000円+税10%)

臨床・行政・看護教育における長年の活動を経て東京都ナースプラザ所長となった著者は、看護師不足の解決に向けた活動の一環として諸外国の状況を調査し、その中で特に米国の看護師免許更新制に関心を持つ。その分析と考察を経てたどりついた結論が、「看護師の継続教育の義務化」の必要性。本書ではその提案の概要と背景を解説する。



看護実践にいかす エンドオブライフケア 第3版

編 長江弘子
編集協力 一般社団法人日本エンドオブライフケア学会
発行 日本看護協会出版会
定価 3190円 (本体2900円+税10%)

看護実践の視点からエンドオブライフケアをまとめた好評書が改訂。新たに「コンパッション」「グリーフケア」「健康な人へのエンドオブライフケア」などの概念を加え、基礎となる理論編もいっそう充実。実践事例も見直している。人生の時間軸を踏まえ、その人の意思表明と実現を支え、「生きる」を支えるエンドオブライフケアの実践を導く一冊。

